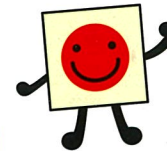


ぴったり しきつめ かずパズル100

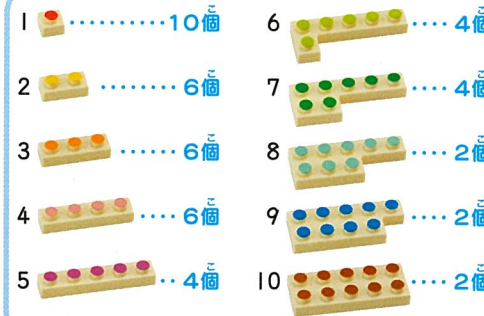


かい せつ しょ
解説書

対象年齢
3才以上
3 4 5 6 ~

セット内容

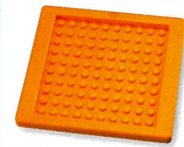
かずのピース...10種類 計46個



100のボード...1枚

ピースケース...1個

かい せつ しょ
解説書...1部



かずのわく...4枚



警告 (けいこく)

保護者のかたへ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲、窒息などの危険がありますので、3歳未満のお子さまには絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

- 保護者のもとで遊ばせてください。
- 安全のため、破損、変形したおもちゃは使用しないでください。
- 火の近くでの使用、保管はしないでください。火事・火傷の原因になります。
- 紙製品で手や指を切る可能性もありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 遊んだ後は、床などに放置せず、3歳未満のお子さまの手の届かないところに保管してください。

くもん出版公式SNS

KUMON TOY、絵本、くもんのドリル等
お子さまの学びにつながる情報を発信中！
ぜひ、のぞいてみてくださいね！

Instagram



Twitter



お問い合わせは

くもん出版

〒141-8488
東京都品川区東五反田2-10-2
東五反田スクエア11F

Tel: 0120-373-415

受付時間 土日祝を除く 10:00~12:00 / 13:15~17:00
ホームページ <https://www.kumonshuppan.com/>
e-mail info@kumonshuppan.com

「ぴったりしきつめ かずパズル100」とは…



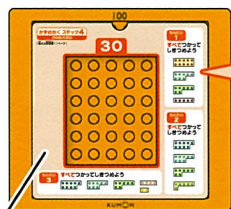
1～10の「数のピース」を組み合わせ、ボードの中にぴったりはめる
(=しきつめる) パズルです。100個の凸があるボードにしきつめるパズルで遊ぶこ
とで、**1から100までの数量の感覚**を養います。また、ピースは、「6と4」や「7と3」
など、組み合わせると「10」の長方形になるので、**算数の基礎である「10のかたまり」**
が感覚的にわかります。遊びながら、楽しく数に対する感覚をみがきましょう！

遊びかた

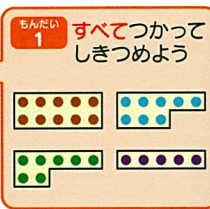
1 「数のわく」で初級パズル

★ 難易度

はじめは、「数のわく」を使います。問題に取り組
む前に、自由にピースをはめこんで遊ぶのもよ
いでしょう。慣れてきたら、わくに書かれている
問題にチャレンジ。10、15、20、30のパズル
を順に進めます。(答えは11ページ)



数のわくをセットします



2 中級パズル

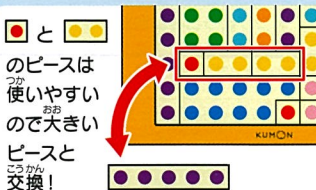
★★ 難易度

「数のわく」の問題が解けるようになったら、解説書3ページからの問題へ。(答えは11～
12ページ)スペースの大きさやピースの数、種類が同じでも、入れかたが何通りかあるこ
ともあります。完成したら、別の入れかたも考えてみましょう。

解くときのコツ！



- 大きいピースからはめていく。
- 「10のかたまり」「15のかたまり」など長方形のかたまりを作ること
意識してはめていく。(ほかに長方形ができる組み合わせを考えてみよう。)
- ピースが入らなくなったら、まわりのピースを2～3個はずして、
はめるピースをかえる。
- ピースが足りなくなったら、●、●●などの小さいピースが並んでいる
ところを、大きいピースで置きかえる。



問題

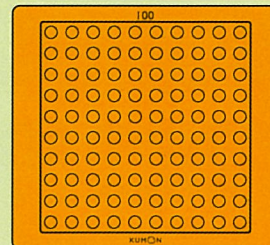


ここからの問題は「数のわく」のパズルで
じゅうぶん遊ぶ
十分遊んでからチャレンジしよう！

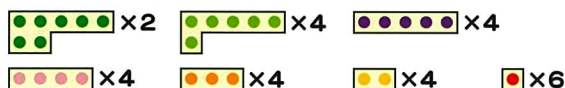
(答えは11～12ページ)

100のパズル

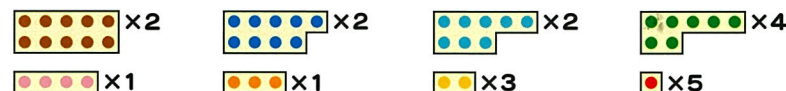
1 100のボードに、自由にしきつめよう。



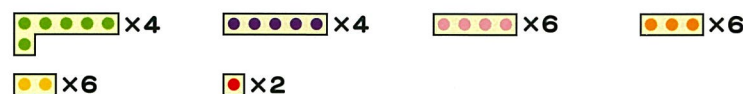
2 100のボードに、次のピースをすべて使って、
しきつめよう。



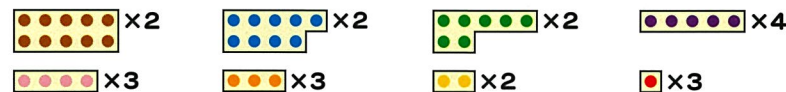
3 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



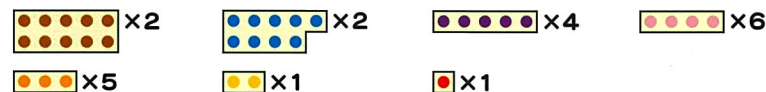
4 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



5 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



6 100のボードに、次のピースをすべて使って、しきつめよう。



7 100のボードに、●のピースを使わずにしきつめよう。



8 100のボードに、●と●●のピースを使わずにしきつめよう。



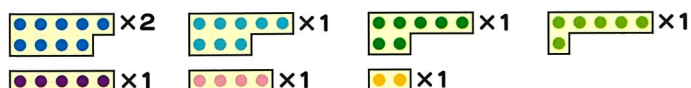
50のパズル

100のボードの半分をしきつめよう。
(ボードについている▼のマークが半分の自印だよ。)

1 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



2 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



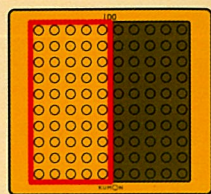
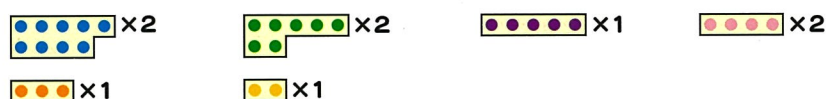
3 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



4 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



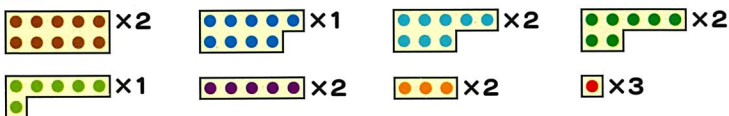
5 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



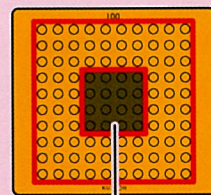
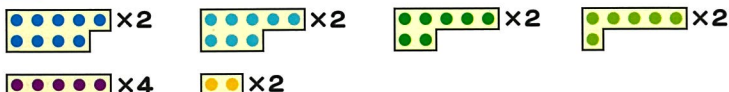
4×4穴あきのパズル

100のボードの中央に、4個分の穴ができるよう、まわりをしきつめよう。

1 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



2 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



先に4個を4つ使ってうめておくとうめやすいよ!

3 上級パズル

難易度 ★★★

問題

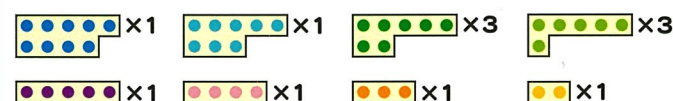
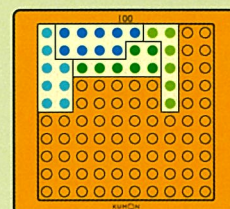


さらに難しい問題5問を紹介!
はじめは答えを見ながら並べてもいいよ。

(答えは12ページ)

100のパズル

1 図のようにピースを置いてから、□の中のピースをすべて使ってしきつめよう。



ヒント: できるだけ「10のかたまり」「15のかたまり」を作ってしきつめよう。

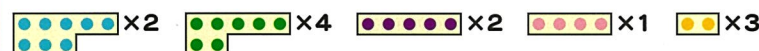
8×8のパズル

100のボードのまわりを1列分残して中央にしきつめよう。

1 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



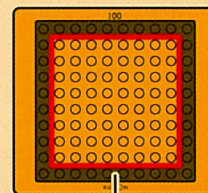
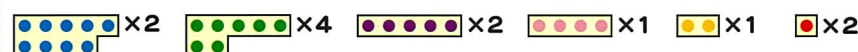
2 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



3 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



4 次のピースをすべて使って、しきつめよう。



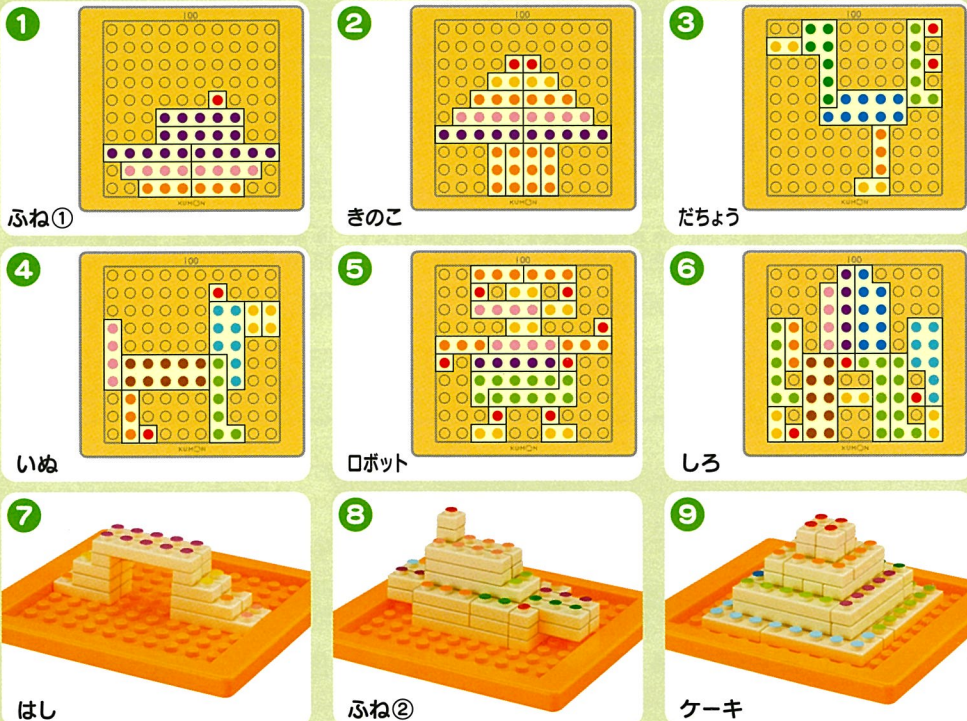
先に4個と4個を
使ってまわりを
うめておくとうめやすいよ!

あそ いろいろな遊びかた



かたち つく 形を作ろう!

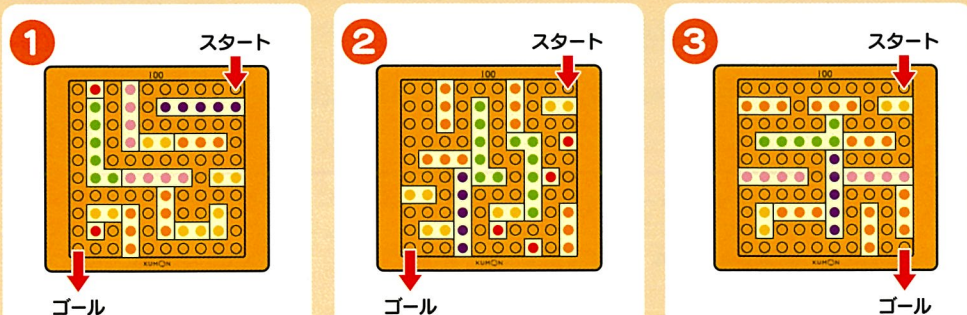
〈例〉



ピースを組み合わせて、ものの形を作ってみよう。

めいろを作ろう!

〈例〉



スタートとゴールを決め、ピースを並べて、めいろを作ってみよう。

あそ ゲームで遊ぼう!

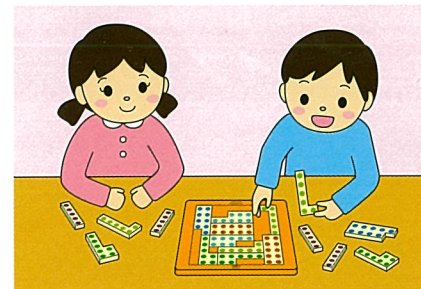
① 対戦型しきつめゲーム

- 人数：2人
- 使うもの：5～10のピース、100のボード

- ① 5～10のピースを同数、同種類に分けます。
- ②じゃんけんで勝った人が先にボードの好きなところに、好きなピースを1個置きます。
- ③もう一人も、ボードの好きなところに、好きなピースを1個置きます。
- ④これをくり返し、先にピースを置けなくなった人が負けです。

ワンモアステップ!

ピースを分けるとき、均等に配るのではなく、交互に自分のほしいピースを取っていきます。どんなピースをたくさん持っているか勝てるかな?



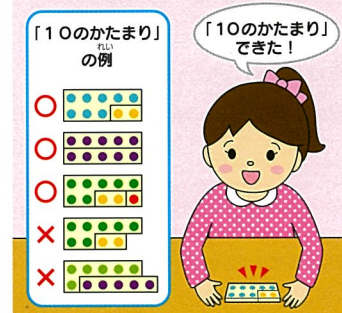
② 10のかたまりゲーム

- 人数：2人以上
- 使うもの：すべてのピース、不透明の袋

- ①すべてのピースを袋に入れます。
- ②じゃんけんで勝った人から、袋の中身を見ないようにして、中からピースを2個取り出します。
- ③ぴったり「10のかたまり」になるように、手持ちのピースを組み合います。「10のかたまり」ができれば1点とし、かたまりのまま置いておきます。一度かたまりにした組み合わせは、変えてはいけません。かたまりにならないピースは、次の自分の番以降に取ったピースと組み合わせることができます。(2個以上のピースを組み合わせてもかまいません。)
- ④ほかの人も同様にし、これを順番にくり返します。
- ⑤ピースがすべてなくなったら終了。点数が多い人が勝ちです。

勝つコツ!

ピースを取り出すとき、手さぐりで凸の数をかぞえ、「10のかたまり」になるピースを探してみましょう。





数当てクイズ10

→ 数かぞえ

- 人数：2人以上
- 使うもの：1～10のピース各1個

【ねらい】

- ・10までの数量感覚
- ・10までの数かぞえの定着
- ・量と数字の一致



出題者は、1～10のピースから1個取り出し、凸の面を上にして解答者に見せます。
解答者は、凸の数を言い当てます。ピースを裏返して数字を確認し、答え合わせをします。

数当てクイズ+

→ たし算

- 人数：2人以上
- 使うもの：すべてのピース
(最初は、1～5などの小さい数のピースを使いましょう。)

【ねらい】

- ・20までの数量感覚
- ・20までの数かぞえの定着
- ・たし算の考えかたにふれる



出題者は、すべてのピースから2個取り出し、凸の面を上にして解答者に見せます。
解答者は、凸の数の合計を言い当てます。凸の数をかぞえて、答え合わせをします。

ワンモアステップ!

取り出した2個のピースを裏側の数字の面を上にして解答者に見せ、解答者は、数字を見て、凸の数の合計を答えます。
裏返して、凸の数をかぞえ、答え合わせをします。(難しい場合は、片方のピースだけ凸の面を上にしてみましょう。)



数当てクイズー

→ ひき算

- 人数：2人以上
- 使うもの：すべてのピース

【ねらい】

- ・ひき算の考えかたにふれる
- ・たし算とひき算の関係を知る



始めに「数当てクイズ+」をします。解答者が合計を言い当てることができれば、今度は2個のピースのうち1個をかくして、残りの数を当てます。

ワンモアステップ!

慣れてきたら、かくした方の数を当てるクイズもしてみましょう。



同じ数のタワー

→ たし算・ひき算

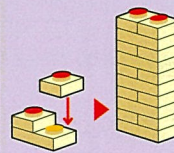
- 人数：1人以上
- 使うもの：すべてのピース

【ねらい】

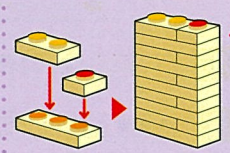
「1と3で4」「2と2でも4」など、合わせると同じ数になる組み合わせが複数あることを知る(たし算・ひき算の基礎)

土台となるピースを1個選びます。その上に、一段の凸の数が土台のピースと同じ数になるように、ほかのピースを組み合わせて積んでいきます。くずれないように気をつけて、積めるピースがなくなるまで積んでみましょう。2人以上で遊ぶときは、一段ずつ交代で積んでいき、自分の番でくずしてしまったら負けというゲームもできます。

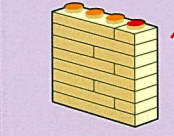
2のタワー



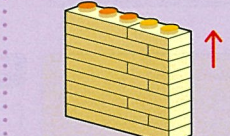
3のタワー



4のタワー



5のタワー



※ただし、「3と3で6」など、ピースの形状上、作れない組み合わせもあります。

同じ数は何個入るかな？ → かけ算



答えは
12ページ

- 人数：1人
- 使うもの：すべてのピース、数のわく100のボード

【ねらい】

- ・100までの数量感覚
- ・かけ算の考えかたにふれる

問題

10のバズル



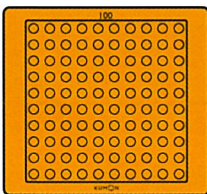
- 1 1は、何個入るかな？
- 2 2は、何個入るかな？
- 3 3は、何個入るかな？

20のバズル



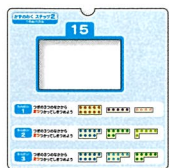
- 1 1は、何個入るかな？
- 2 2は、何個入るかな？
- 3 3は、何個入るかな？

100のボード



- 1 「10のかたまり」は何個入るかな？

15のバズル



- 1 1は、何個入るかな？
- 2 2は、何個入るかな？

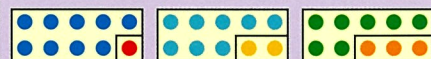
30のバズル



- 1 「10のかたまり」は何個入るかな？

ピースを組み合わせて、「10のかたまり」をたくさん作り、何個入るか試してみよう。

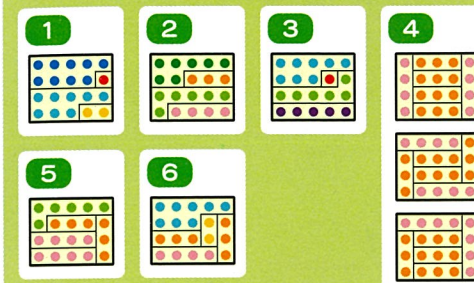
「10のかたまり」の例



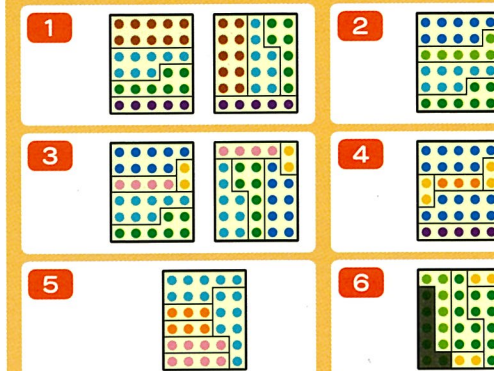
答えの例

ピースの入れかたは、ここにある以外に何通りかあるものもあります。不規則に並べるほど、びったりしきつめるのが難しくなります。難しい答えも探してみましょう。

数のわく 20のバズルの答えの例

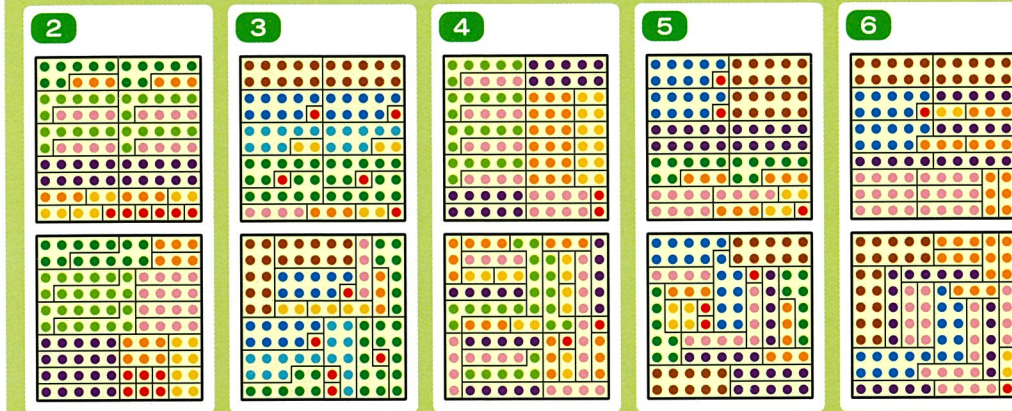


数のわく 30のバズルの答えの例



100のバズル (3ページ) の答えの例

※ピースの指定のない 1 7 8 は省略しています。

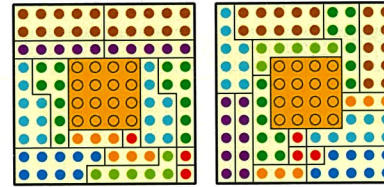


50のバズル (4ページ) の答えの例

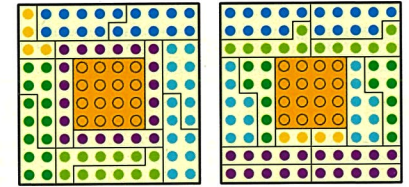


4×4穴あきパズル (4ページ) の答えの例

1

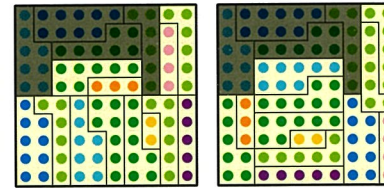


2



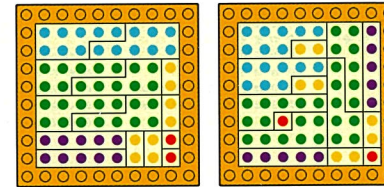
100のパズル (5ページ) の答えの例

1

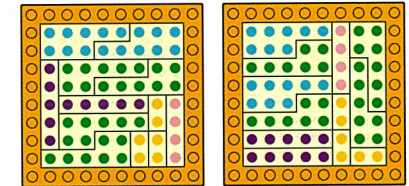


8×8のパズル (5ページ) の答えの例

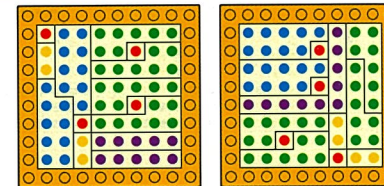
1



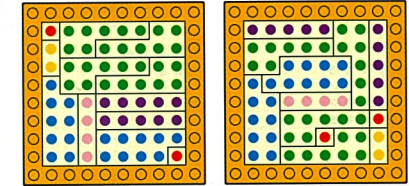
2



3



4



同じ数は何個入るかな? (10ページ) の答え

10のパズル

- 1 10個
- 2 5個
- 3 2個

15のパズル

- 1 5個
- 2 3個

20のパズル

- 1 5個
- 2 4個
- 3 2個

30のパズル

- 1 3個

100のボード

- 1 10個